



## 「動く→動かす」活動計画 (2011年7月～2012年6月)

### 1. 「動く→動かす」を取り巻く状況

---

2011年3月11日午後2時46分に発生した東北地方太平洋沖地震に端を発する東日本大震災と福島第1原発事故によって、日本は、近年まれに見る危機に直面しています。「動く→動かす」は、この大震災に被災したすべての人々に、心からお見舞いを申し上げます。また、尊い命を落とされたすべての人々に、謹んで哀悼の意を表します。

日本が重大な危機に直面する中で、私たちはどのように国際協力と向き合うべきなのでしょうか。

5月2日に可決された震災救援のための第1次補正予算には、本年度一般会計予算のODAの一割削減が盛り込まれてしまいました。このように、震災復興と国際協力は、ともすれば二項対立的に捉えられがちです。

一方、被災地からは「ハイチの人々の苦しみが理解できた」という声が聞かれたり、海外からは、南アジアやアフリカ、大洋州の途上国を含め、多くの国々や国際機関、海外の市民社会から具体的な支援やメッセージが次々と寄せられたりしました。これらの中には、自らも困難な状況に置かれた人たちによるものも少なくありません。以上の出来事は、震災、救援・復興を単に「日本人の悲劇」と処理してしまわずに、人類が痛みと力を分かち合うことの価値に対する気づきのきっかけにできれば、日本が内向きになることは決して不可避なことではなく、「絆」に基づく国際協力の意義を再認識し、取り組みを進めることが可能であることを教えています。

「2015年までに貧困を半減する」ことなどを約束したミレニアム開発目標(MDGs)の達成期限まで残り4年。私たちは、震災復興と国際協力の両立を求める市民の「声」を集める役割を担い、国際協力への機運を再び高めます。そして、これらの声とともに、MDGs達成のために必要不可欠な資金的な貢献を、政策決定者に求めていきます。

### 2. 「動く→動かす」の2011～2012年活動計画

---

「動く→動かす」の事業は、運営委員会の承認を得た実施チームが中心となり、チーム間の連携を図りながら、実施されます。2011年7月現在、「政策チーム」「パブリック・モビライゼーション・チーム」「TICAD アドボカシー・チーム」の3チームが設立されています。

■ 2011～2012年達成目標

**達成目標 A** これ以上の MDGs 関連の ODA 削減を食い止める。

- A-1 MDGs 向け ODA 予算確保(震災後の文脈における「ODA のあり方に関する検討」の具現化)
- A-2 MDGs 達成のための援助効果向上の実現
- A-3 アフリカにおける MDGs 達成のため、TICAD に向けた働きかけを強化する。

**達成目標 B** 震災復興と国際協力の両立性の意識を市民社会において醸成し、世界の貧困解決に継続して取り組む市民を増やす。

- B-1 貧困問題にすでに関心を持つ人が「動く→動かす」とともに活動を展開できるためのスキル・情報を提供し、活動環境を整備する。
- B-2 世界の貧困解決に向けたポピュラーな運動を創造し、市民参加の機会を拡充する。
- B-3 NGO セクターが全体として国際協力の必要性を訴える機運・機会を作る。
- B-4 日本が世界の貧困解消のために今後も努力する必要があるという認識が社会各層に広がる。

【参考】活動内容詳細

【達成目標 A】 これ以上の MDGs 関連の ODA 削減を食い止める。		
A-1 MDGs 向け ODA 予算確保(震災後の文脈における「ODA のあり方に関する検討」の具現化)		
達成目標	活動内容	実施体制/備考
1. 政策決定者への影響力を保有している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国会議員、政府高官との恒常的(連携)関係構築</li> <li>● 国会と財務省重視の提言</li> <li>● 外務省、財務省、国会対象の提言</li> <li>● アドボカシー・ターゲットを巻き込んだ公のイベント開催、もしくは加盟団体による同種イベントとの協力</li> <li>● 左記メディア関係者との積極的、定期的な関係構築</li> <li>● ソーシャルメディア(主に Twitter)での発信を継続・強化</li> </ul>	政策チーム、事務局
2. 2011 年度補正予算、2012 年度予算において、昨年度と同等、もしくはそれ以上の ODA が確保される。		
3. ODA 予算における MDGs 分野向け、及び関連の多国間援助の拠出金が確保される。		
4. 関連メディア関係者への影響力構築および情報源を獲得している。		
5. 革新的資金メカニズム導入に向けた機運が向上している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 連帯税フォーラム等の活動に適宜参加、支援</li> </ul>	政策チーム、事務局

A-2 MDGs 達成のための援助効果向上の実現		
達成目標	活動内容	実施体制/備考
1. 我が国 ODA の MDGs 効果が向上している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>第 4 回援助効果ハイレベルフォーラムに向けた援助効果意見交換会への関与</li> <li>「ODA のあり方検討」のフォローアップとして、公的な場を通じて提言・立案</li> </ul>	政策チーム、事務局
A-3 アフリカにおける MDGs 達成のため、TICAD に向けた働きかけを強化する。		
達成目標	活動内容	実施体制/備考
1. TICAD 横浜行動計画における MDGs 達成への貢献が有意義な形で実現する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>外務省アフリカ審議官組織(特にアフリカ 2 課)との恒常的な協議</li> <li>第 3 回 TICAD IV フォローアップ会議の総括、第 4 回および TICAD V に向けた情報の確保</li> <li>世銀、UNDP、UNOSAA、在京アフリカ外交団との定期的な連絡。</li> <li>横浜行動計画の進捗状況および問題点の調査・研究</li> </ul>	TICAD アドボカシー・チーム
【達成目標 B】震災復興と国際協力の両立性の意識を市民社会において醸成し、世界の貧困解決に継続して取り組む市民を増やす。		
B-1 貧困問題にすでに関心を持つ人が「動く→動かす」とともに活動を展開できるためのスキル・情報を提供し、活動環境を整備する。		
達成目標	活動内容	実施体制/備考
1. 第 2 回アドボカシー実践講座受講生の 30%が「途上国の貧困」「スタンド・アップ」に関わる行動を起こしている。 2. 第 3 回アドボカシー実践講座が行われている。 3. アドボカシーを行ないたい人が、周囲を巻き込んで活動するための、実践的なツールが完成し、普及されている	<ul style="list-style-type: none"> <li>「アドボカシー実践講座」の開催および参加者フォローアップの実施</li> <li>自主的にアドボカシー活動を展開するグループ設立促進、活動サポート</li> <li>ソーシャルメディア(主に SNS)を活用し、アドボカシー活動関心層との関係構築を促進</li> <li>MDGs の重要性・進捗が単なる国際目標としてではなく、途上国の人たちの現状から理解でき、その解決に向けた行動を考えるきっかけとなるツールを製作、普及</li> </ul>	パブモビチーム、事務局
4. アフリカに関心をもつ人々と TICAD と	<ul style="list-style-type: none"> <li>TICAD やアフリカに関心をもつ人々</li> </ul>	TICAD アドボカシ

の接点となり、ボランティアなどの形で協力してくれる人を増やす。	への広報の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティアとして取り組める内容などの整備</li> </ul>	ー・チーム
<b>B-2 世界の貧困解決に向けたポピュラーな運動を創造し、市民参加の機会を拡充する。</b>		
達成目標	活動内容	実施体制/備考
1. スタンド・アップに 47 都道府県からの参加を得る 2. スタンド・アップに合計 10 万人(うち 2 万人は「動く→動かす」加盟団体関係者)の参加を得る。 3. スタンド・アップがポジティブなメディア露出を得る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>スタンド・アップの継続的な実施</li> <li>スタンド・アップへの参加を動機づけるツールを作成</li> <li>スタンド・アップへ参加した人が成果を感じ、その後の活動に参加できるような仕組みの構築</li> <li>スタンド・アップを含む、MDGs 達成や世界の貧困解決への関心を高めるプログラムを多様なセクターと連携して実施</li> <li>2012 年以降の GCAP グローバルと連携したパブリック・モビリゼーションを検討</li> </ul>	パブモビチーム、事務局
4. アフリカンフェスタが 2011 年内に開催される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>外務省アフリカ審議官組織(特にアフリカ 2 課)との恒常的な協議</li> </ul>	TICAD アドボカシー・チーム
<b>B-3 NGO セクターが全体として国際協力の必要性を訴える機運・機会を作る。</b>		
達成目標	活動内容	実施体制/備考
1. 各会員団体やその他国際協力 NGO と調整し、国際協力に関する共同での国民・市民向けの働きかけの動きを支援する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>加盟団体・国際協力 NGO との調整により、タイミングを図りながら共同での国民・市民向けの動きをつくる。</li> </ul>	運営委員会、事務局
<b>B-4 日本が世界の貧困解消のために今後も努力する必要があるという認識が社会各層に広がる。</b>		
達成目標	活動内容	実施体制/備考
1. スタンド・アップのイベント数件が政策決定者への影響を伴って実施される	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元の国会議員やメディア関係者を巻き込むスタンド・アップの支援</li> </ul>	政策チーム、パブモビチーム、事務局
2. 震災救援・復興と貧困解消の両立という考え方を支持し、国際協力に積極的に関心を持つ、または国際協力に関わる市民が増える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な制作物の作成・配布</li> <li>メディアやソーシャルメディアでの発信</li> <li>アフリカの貧困問題とアフリカの人々の取り組みについて伝え、日本の国際協力の必要性についての関心を喚起</li> </ul>	各実施チーム、事務局

【参考】年度内主要日程

時期		内容	場所
<b>■2011年</b>			
7月	29～31日	Fuji Rock Festival	新潟
	未定	第2次補正予算？	—
8月	下旬	概算要求	—
10月	1～2日	グローバルフェスタ JAPAN 2011	東京
	1～17日	STAND UP TAKE ACITON 2011	日本全国
	22～23日	ワールド・コラボ・フェスタ	愛知
	22～23日	横浜国際フェスティバル	横浜
	未定	第3次補正予算？	—
11月	3～4日	G20 カンヌ・サミット	フランス・カンヌ
	29～12月1日	第4回援助効果ハイレベルフォーラム	韓国・釜山
12月	11月28日～9日	第17回気候変動枠組み条約締約国会議(COP17)	南アフリカ・ダーバン
	未定	2012年度予算案発表	—
	未定	第4次補正予算？	—
<b>■2012年</b>			
1月	未定	通常国会召集	—
2月	上旬	ワン・ワールド・フェスティバル	大阪
3月	未定	2012年度予算承認(国会)	未定
4月	未定	パートナーシップ・フォーラム	
5月	未定	第4回 TICADIV フォローアップ閣僚会議	未定
6月	4～6日	国連環境と開発に関する会議(『地球サミット』『Rio+20』)	ブラジル・リオデジャネイロ
	未定	G8 サミット？	アメリカ・??

## 【参考】各チーム運営状況

### ■政策チーム

リーダー：(特活)オックスファム・ジャパン 山田太雲

チーム登録団体：

(特活)アフリカ日本協議会、(特活)オックスファム・ジャパン、オルタモンド、(財)家族計画国際協力財団(ジョイセフ)、(特活)国際協力NGOセンター(JANIC)、ジェンダー・アクション・プラットフォーム(GAP)、すぺーすアライズ、(公社)セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン、(特活)日本リザルツ、(特活)メドウサン・ドウ・モンド・ジャポン、(特活)ワールド・ビジョン・ジャパン

### ■パブリック・モビリゼーション・チーム

リーダー：(特活)開発教育協会 西あい

チーム登録団体：

(特活)アフリカ日本協議会、(特活)オックスファム・ジャパン、(特活)WE21 ジャパン、(特活)開発教育協会、(特活)草の根援助運動、(特活)国際協力NGOセンター、(特活)DPI 日本会議、(特活)ハンガー・フリー・ワールド、ピースボート、(公財)プラン・ジャパン、(特活)フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

### ■TICAD アドボカシー・チーム

リーダー：(特活)アフリカ日本協議会 斉藤龍一郎

チーム登録団体：

(特活)アフリカ日本協議会、(特活)アフリカ理解プロジェクト、(財)家族計画国際協力財団(ジョイセフ)、(特活)DPI 日本会議、(特活)ハンガー・フリー・ワールド、(公財)プラン・ジャパン、(特活)メドウサン・ドウ・モンド・ジャポン、(特活)ワールド・ビジョン・ジャパン

# 「動く→動かす」運営計画 (2011年7月～2012年6月)

## 1. 「動く→動かす」を取り巻く状況

---

「動く→動かす」が最優先で取り組むべき運営上の課題は、財政的な課題です。「動く→動かす」は2009年3月の発足以来、MDGs達成を目的とする「国際連合ミレニアムキャンペーン (UNMC)」から年間300万円以上の助成を継続して受けてきました。しかし、リーマン・ショックに端を発する世界同時不況の影響や、欧州諸国の経済状況の悪化から、2010年度の途中で同助成が停止され、本年度については、これが廃止されるに至りました。

2011年度に関しては、多くの加盟団体の協力によって活動に必要な資金確保の目途が立ちつつありますが、長期的に安定した資金源の確保は必要不可欠です。

財政面以外では、民間企業・民間財団や中間支援組織等各セクターとの関係拡大・強化に取り組むほか、加盟団体の拡大、ならびに加盟団体全体でアドボカシーを行える基盤の整備にも取り組んでいきます。

## 2. 「動く→動かす」の2011年～2012年運営計画

---

運営目標
------

厳しい財政状況を乗り越え、ネットワークの目標を達成するため、財政・組織基盤を整備する。

- C-1 各事業にかかる経費の縮減を図る。
- C-2 事務局および各チームで協力して、事業に必要な資金の確保を図る。
- C-3 会員団体を増やす。
- C-4 社会各セクターとの連携を強化し、さらなる支援を得る。
- C-5 財政基盤の強化も含め、国際的な連携を強化する。
- C-6 加盟団体全体でアドボカシーできる基盤を作る

【参考】活動内容詳細

【運営目標】厳しい財政状況を乗り越え、ネットワークの目標を達成するため、財政・組織基盤を整備する。		
<b>C-1 各事業にかかる経費の縮減を図る。</b>		
達成目標	活動内容	実施体制/備考
1. プロボノスタッフの継続的な参加を得る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な活動報告</li> <li>定期的な活動機会の提供</li> </ul>	事務局
2. 事業の成果を損なわない範囲で制作物の印刷費、発送費等を縮減する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>安価なサービスの利用</li> </ul>	事務局
<b>C-2 事務局および各チームで協力して、事業に必要な資金の確保を図る。</b>		
達成目標	活動内容	実施体制/備考
1. 「動く→動かす」の年間を通じた事業を賄える資金を早急に確保する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>Rio+20 関連で外部助成金の獲得を目指す(加盟団体の活動との協働・連携)</li> <li>各実施チームと連携して、各分野の費用を確保できる助成金(国内外、民間、公的)の確保に努める</li> </ul>	各実施チーム、加盟団体、事務局
2. 第4回 TICAD IV フォローアップ閣僚会議と再来年の TICAD V に向けた市民社会の活動に十分な資金を創出する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>TICAD チームのメンバーやこれまで TICAD 関係の市民社会行動に協力してくれた人々と連携し、助成金や寄付などの確保に向けて最大限努力する。</li> </ul>	
<b>C-3 会員団体を増やす。</b>		
達成目標	活動内容	実施体制/備考
1. 国際協力 NGO のほとんどが「動く→動かす」に参加する。 2. 正会員団体が増える。 3. サポーター団体が増える。 4. フレンズ団体の「動く」事業への積極的な参画を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営委員会などと協力して、「動く→動かす」に参加していない団体に対して、参加の働きかけに努める。</li> <li>民間財団・民間企業や、MDGs に関心をもつ人々が積極的にサポーター会員になれるように努める。</li> <li>フレンズ団体各実施チームへの参画を働きかける。</li> </ul>	運営委員会、事務局
<b>C-4 社会各セクターとの連携を強化し、さらなる支援を得る。</b>		
達成目標	活動内容	実施体制/備考
1. 民間企業・民間財団や中間支援組織へのアウトリーチを強化し、恒常的な連携をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的なアウトリーチを行う。</li> <li>各チームと連携・協力して、働きかけを強化する。</li> </ul>	各実施チーム、事務局



<p>2. 各チームと連携し、各チームと連携・協力関係にある団体との連携・協力をつくる。</p> <p>3. アフリカに関わる様々なセクターとの連携を強化し、助成金や支援、寄付などに繋げる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際機関やアフリカに関わる民間企業、アフリカに関心をもつ人道団体・宗教団体などとの連携を強化し、資金的な支援に繋げる。</li> </ul>	
<b>C-5 財政基盤の強化も含め、国際的な連携を強化する。</b>		
達成目標	活動内容	実施体制/備考
<p>1. MDGs 推進に関心をもつ国際的な民間財団や援助機関、国連機関、ネットワーク組織などと連携を強化し、資金に結びつける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>GCAP グローバルや GCAP G8/G20 などとの連携、また、MDGs 関連分野での国際的な連携を強め、資金確保に努める。</li> </ul>	各実施チーム、事務局
<p>2. TICAD に関わるアフリカの市民社会ネットワークの活動の強化を支援し、協力して資金確保に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アフリカ市民社会協議会の活動を支援し、協力してドナーを探す。</li> <li>TICAD に関心をもつ国際的な民間財団などを探し、助成金に繋げる。</li> </ul>	
<b>C-6 加盟団体全体でアドボカシーできる基盤を作る</b>		
達成目標	活動内容	実施体制/備考
<p>1. 加盟団体のアドボカシーへの参画拡大</p> <p>2. 加盟団体の対外発信における「動く」及びそのメッセージの可視化</p> <p>3. 加盟団体を含むステークホルダーの参加を得て、パートナーシップ・フォーラムが開催されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「動く→動かす」の活動を会員団体に共有し、積極的に参加できる方法を検討し実行に移す。 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 例：定期的な報告会の開催、解説動画シリーズの作成、定期的な報告をメーリングリストに流す、会員団体との個別的な連携を積極化するなど。</li> </ul> </li> </ul>	全チーム

以上